

第 52 回川崎みなと祭りに海事 PR ブースを出展
～クイズや VR、輪投げを通して海事産業を学ぶ～

当協会では、日本の暮らしと産業を支える海運をはじめとする海事産業の重要性や魅力を広く一般の皆様にご覧いただけるよう、船舶や海事施設の見学会や海事 PR ブースの出展等の広報活動を全国各地で開催しております。

10 月 11・12 日(土・日)に、神奈川県川崎市にて第 52 回川崎みなと祭りが開催されました。当協会は、日本内航海運組合総連合会や日本水先人会連合会等と協力し、海運をはじめとする海事産業の魅力を紹介する海事 PR ブースを出展しましたので、その模様をお知らせします。

当日は会場近辺で川崎市主催の川崎港クルーズ等が開催されるとともに、飲食店の屋台や、各種団体の PR ブース等も出展し、多くの来場者で賑わいました。

3 回目の出展となる今年は、体育館内のブースで、これまでより広いスペースの中、海運にまつわるクイズや輪投げ、自動車船内の VR 映像体験を実施しました。子供から大人気だった輪投げでは、「コンテナ船」「自動車船」「LNG 船」3 種のイラストを狙って輪を投げてもらい、運ぶ荷物によって船の形が異なることを紹介しました。参加いただいた方には、ノベルティをプレゼントしたほか、当協会の X (旧 Twitter) アカウントをフォローいただいた方にはオリジナル海運ミニ袋をプレゼントしました。

2 日間にわたり大勢の方にブースにお立ち寄りいただき、クイズには約 450 名の方にご参加いただきました。お立ち寄りいただいた方からは、「海運が貿易量の 99%以上を運ぶのは知らなかった」「自動車船の中を見ることができて楽しかった」等の声が聞かれました。



海事 PR ブースの様子



自動車船を VR で見学



輪投げで多様な船を紹介

当協会は、今後も各海事関連団体と連携しながら、海事 PR ブースの出展をはじめとする各種広報活動を通じて、より多くの皆様に海事産業の重要性や魅力を発信・周知できるよう努めてまいります。

以上